NEWS RELEASE

叡山電鉄株式会社

平安女学院大学

2026年11月20日

八瀬比叡山口駅をイルミネーションで装飾「Illumi-station（イルミステーション）」を開催します

平安女学院大学と叡山電車が共同で監修・企画

叡山電鉄株式会社（本社：京都市左京区、社長：豊田秀明）では、平安女学院大学との共同監修・企画のもと、八瀬比叡山口駅をイルミネーションで装飾した「Illumi-station（イルミステーション）」を２０２６年１２月１１日（金）から２０２７年２月１４日（日）に開催します。

開業当時の趣を今に伝えるドーム屋根の駅舎が残る八瀬比叡山口駅。その駅舎を平安女学院大学イルミネーション委員会が**「雪の夜空」**のコンセプトで装飾いたします。「暗い夜空に、ある日は星がいっぱい、ある日は雪がいっぱい」のイメージのもと、美しい光に包まれた空間を演出します。

また、期間中の１２月１２日（土）には、本年で１０回目となる「クリスマスステーションｉｎ八瀬」を開催。八瀬比叡山口駅構内、駅テラスおよび駅前広場で、地元学校の学生・児童などによる演奏やパフォーマンス、飲食やワークショップなどをクリスマスの雰囲気のなかでお楽しみください。



昨年開催時の様子

１．イベント名　　「Illumi-station（イルミステーション）」
※イルミステーションとは、Illumination（イルミネーション）とStation（ステーション）を組み合わせた造語です。

２．開催期間　　２０２６年１２月１１日（金）～２０２７年２月１４日（日）

３．開催場所　　八瀬比叡山口駅

「雪の夜空」について（平安女学院大学イルミネーション委員会より）

八瀬比叡山口駅の駅舎は、１９２５（大正１４）年に「八瀬」駅として開業し、今年で開業１０１年を迎えました。クリスマスシーズンには「イルミステーション」と題し、歴史ある駅舎をイルミネーションで彩っています。

今年度のイルミステーションのテーマは「雪の夜空」です。「暗い夜空に、ある日は星がいっぱい、ある日は雪がいっぱい」をコンセプトに、美しい星空や雪景色が織りなす幻想的な冬の夜を表現しました。「星」や「雪の結晶」をモチーフとしたオブジェを手作りで制作し、温かみのあるデザインとすることで、ご来場いただいた皆さまに心温まるひとときをお届けできるよう工夫しています。

歴史ある駅舎を彩る幻想的なイルミネーションを通じて、多くの方に八瀬比叡山口駅の魅力を感じていただく機会となることを期待しています。



昨年開催時の様子